

しょうがい ひと しゃかい さんか
障害のある人の社会参加と、
 いきが**い**づくりを進める**と**りくみ**組**

しょうがい ひと
障害のある人がやりたい
ことの勉強ができるよう
 にしていきます。

おんがく え げき
スポーツ、音楽、絵、劇、
お祭りなどの文化活動が
 しやすいようにしま
 す。

しょうがい とりくみ
これまで紹介した取組
の他にも、共生社会の
実現に向けて、様々な
ことに取り組んでいき
 ます。



このプランをもっと知りたいときは…

しら 調べてみる

さがみはらし しょうがいしゃ
相模原市 障害者プラン



けんさく
ネットで検索

き 聞いてみる

さがみはらし けんこう ふくしきょく ちいき ほうかつ すいしん ぶ ちいき ほうかつ すいしん か
相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課
 でんわ
電話：042-769-9222 / ファクス：042-759-4395
E-mail：houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

れいわ ねんど
令和6年度
からの

しょうがい ふくし とりくみ
さがみはらの
障害福祉の取組

だい き とも い しゃかい
～第2期 共にささえあい生きる社会

しょうがいしゃ ほん
さがみはら障害者プラン・わかりやすい版～

どんなプランなの？

とも い しゃかい しょうがいしゃ しょうがい
共にささえあい生きる社会さがみはら**障害者プラン**は、**障害のある**
人も障害のない人も、お互いを認め合いながら、共に生きていく社会
 をつくる**こと**ができるように、**基本的な目標や取組**をまとめた**もの**で
 す。

れいわ ねんど しょうがいしゃ ねんど ねん
このプランは、令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年
間を期間としています。

さがみはらし こんご
相模原市の未来は？

しょうがい ひと にんずう ふ よそう
▶ 障害のある人の人数が増えることが予想されます

ちてきしょうがい ひと にんずう
<知的障害のある人の人数>

れいわ ねん にん
令和5(2023)年は、6,810人ですが、

れいわ ねん にん しょうか
令和11(2029)年には、7,980人(1,170人増加)になる見込みです。

せいしんしょうがい ひと にんずう
<精神障害のある人の人数>

れいわ ねん にん
令和5(2023)年は、17,067人ですが、

れいわ ねん にん しょうか
令和11(2029)年には、
21,529人(4,461人増加)になる見込みです。

しょうがい ひと ぜんたいにんずう
<障害のある人の全体人数>

れいわ ねん にん
令和5(2023)年は、43,423人ですが、

れいわ ねん にん しょうか
令和11(2029)年には、
47,529人(4,106人増加)になる見込みです。



このプランでは、「共にささえあい 生きる社会」を
キャッチフレーズに、さまざまな取組を進めていきます。



障害への理解を深める取組

障害がある人も、障害がない人も、安全で安心して暮らせる共生社会を目指して、障害への理解を深める取組を進めます。

相手の立場になって考えられるよう、人権教育や福祉教育に関する取組を進めます。

普段の生活をサポートする取組

障害のある人とその家族が困っていることの相談がしやすくなるようにします。

重い障害があっても、サービスを利用しながら生活していけるよう、障害福祉サービスを充実します。



障害のある人をサポートする仕事をする人を増やし、育てる取組

障害のある人の生活を支える仕事をする人が増えるように取り組みます。

障害のある人を支える人が、障害について詳しくなるよう育てます。また、障害がある人を支える仕事をしている人が働きやすくなるようにしていきます。

障害のある児童をサポートする取組

子ども一人ひとりにあったサポートをするため、学校とその他の機関が協力できるようにします。

障害のある子どもが、地域で豊かな人生を送ることができるよう、自分のやりたいことに挑戦できる環境にします。

障害のある人が働きやすくなる取組

障害のある人が働くことを支えるために、仕事の支援をする人や福祉の支援をする人が協力できるよう取り組みます。

障害のある人が働きやすいように、職業訓練が受けられるようにします。